

ネットやアプリ等の

望ましい使い方をするために

令和4年6月

白山市立蕪城小学校 PTA

インターネットやスマートフォンのアプリは、正しい使い方ができれば、生活の役に立つとても便利なものです。しかし、誤った使い方をする事で、いじめの温床になったり、事件や犯罪に巻き込まれるきっかけになったりしていることも事実です。また、すでに始まっている文部科学省の「GIGA スクール構想」により、1人1台端末が整備され、授業の中でタブレットを使用して学習を効果的に進めていくことやオンライン授業など、子どもにとって ICT がより身近なものとなり、社会のあらゆる場所でも ICT の活用が日常のものになってきています。

これからの時代を生き抜く子どもたちにとって、情報活用能力は不可欠です。そのことを考えるとインターネットやスマートフォンをはじめとするデジタル機器、SNS によるコミュニケーションなどを望ましい形で自分や周りの他の人にとって「賢く安全に使うための知識・知恵」や「ルールを守って使える心」を育てていく必要があります。そのために、蕪城小学校では、「ネットとうまく付き合うための約束」を決めました。ご家庭でもしっかりとお子様と話し合い、インターネットとしっかり向き合っていただき、お子様のより良い成長に役立てるようご協力をお願いいたします。

ぶじょっこ ネットとうまく付き合うための約束

1. 家庭でルールを決める（時間・場所等）
2. フィルタリングを必ずかける
3. 時間を守って使う（21 時以降は使用禁止）
4. 相手を傷つける言葉は使わない
5. むやみに個人情報を載せない

（名前、住所、電話番号、顔写真等）



これらを基本に、各家庭で相談をして、例えば毎月 23 日頃の家庭読書の日にあわせて、「ノーテレビ・ノーネット・ノーゲームデーを設ける」等きまりを付け加えてみてはいかがでしょうか。

ネット事情を知っておこう！

過度な使用による日常生活への支障！

自分をコントロールできずネットやスマホを長時間使うようになれば、勉強に充てる時間が減るだけでなく、健康面でもマイナスです。寝る1時間前には使用しない方がよいなど適切な使い方ができるよう、利用のルールを話し合い、保護者が利用状況を把握するよう心掛けましょう。



無料通話アプリなどでの悪口や仲間外れ！

無料通話アプリのグループトークで生じる“いじめ”や“仲間外れ”は、地域を問わず課題となっています。何気ない出来事からいじめに発展することも少なくありません。



オンラインゲームでのトラブル増！

「子ども自身の暴言」「仲間はずれなどのいじめや人間関係トラブル」「高額課金」等のトラブルが増えています。ゲーム内でのチャットやボイスチャットでの会話をきっかけに仲間外れが起こり、学校でのいじめに発展する例もあるようです。ゲーム中でも使っている言葉やどのようなゲーム内容かを十分知ることも大切かもしれません。



ネットの発言が罪になることも！！

面白半分で他人の悪口や中傷を書き込みしたとしても「名誉毀損罪」や「侮辱罪」として、未成年でも逮捕されることがあります。相手を傷つける言葉は、話さないだけでなく書かないことが大切です。



インターネットの危険から子どもを守るのは、身近な大人=保護者です。

子どもの健康と安全をしっかりと守ってあげませんか？

ぜひ、一緒に話す機会を設けて、お家でお話をしてください。